

Naegleria australiensis, *N. jadini* 及び *N. fowleri* がコードする
光活性化アデニル酸シクラーゼの解析

佐藤 彩¹, 辻 晋一², 山守 漠², 八木田 健司³, 安川 洋生²

(¹富山大・工, ²富山大・院理工, ³国立感染研・寄生動物)

【要旨】 *Naegleria gruberi* の全ゲノム情報が発表され、少なくとも3種の光活性化アデニル酸シクラーゼ(PAC)の候補をコードしていると報告された。PCRにて他の *Naegleria* 属のオーソログを探索した結果、*N. australiensis* と *N. jadini* から各々2種ずつの PAC 候補の部分配列を決定できた。*N. fowleri* に関しては PCR 産物が得られず、PAC をコードしていない、または他の種とはかなり異なる塩基配列を有している可能性が考えられる。